

平成 30 年 11 月 28 日

様

社会福祉法人 日本フレンズ奉仕団
理事長 飯田 能子

第 10 回フレンズ祭り～第 20 回フレンズリサイクルバザー～の実施報告
—ご協力に対するお礼と感謝—

拝啓 初冬の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

去る 10 月 28 日（日）のフレンズ祭りは、晴天に恵まれ、地域の皆さんやフレンズホームの利用者、ご家族などで終日、賑わいました。

今年は新たな試みとして、リサイクルバザー会場にイベントコーナーを設けて、フレンズホーム入居者ご家族様からの献金でサバ缶と新米を仕入れて販売、栄養価が高いサバ缶を使った手軽にできる料理の試食を行い、多くの方からご好評をいただきました。

恒例となったリサイクル用品、地域の方々による手作り作品はどちらも昨年を上回る売上額になり、また協賛団体には物品販売やサービス提供のご支援をいただきました。

来場者は 250 名（昨年は 167 名）を数え、バザーの売上は 495,370 円（昨年は 383,204 円）となりました。

最終的なバザー会計は、材料費や諸経費を除いた利益 209,308 円（昨年は 177,204 円）に、フレンズの事業所のご利用者やご家族、法人の役員からいただいた献金 270,000 円を加え、総額 479,308 円となりました。

このバザーによる浄財は、当法人が実施している地域貢献事業「フレンズ・サポート」による助け合いメニューの拡充に、また職員研修大会の奨励賞として、人材育成に活用させていただきます。ここに、ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、テントの設営および撤去に馳せ参じてくださった地元町会の皆さまの労に対して、厚くお礼を申し上げます。

今年も 1 ヶ月余を残すのみとなりましたが、健康に留意されて、楽しい年の瀬をお迎えください。お礼まで。

敬具



イベントコーナー ～サバ缶の試食～



バザーを終えて、集合写真



例年賑わう、バザー会場